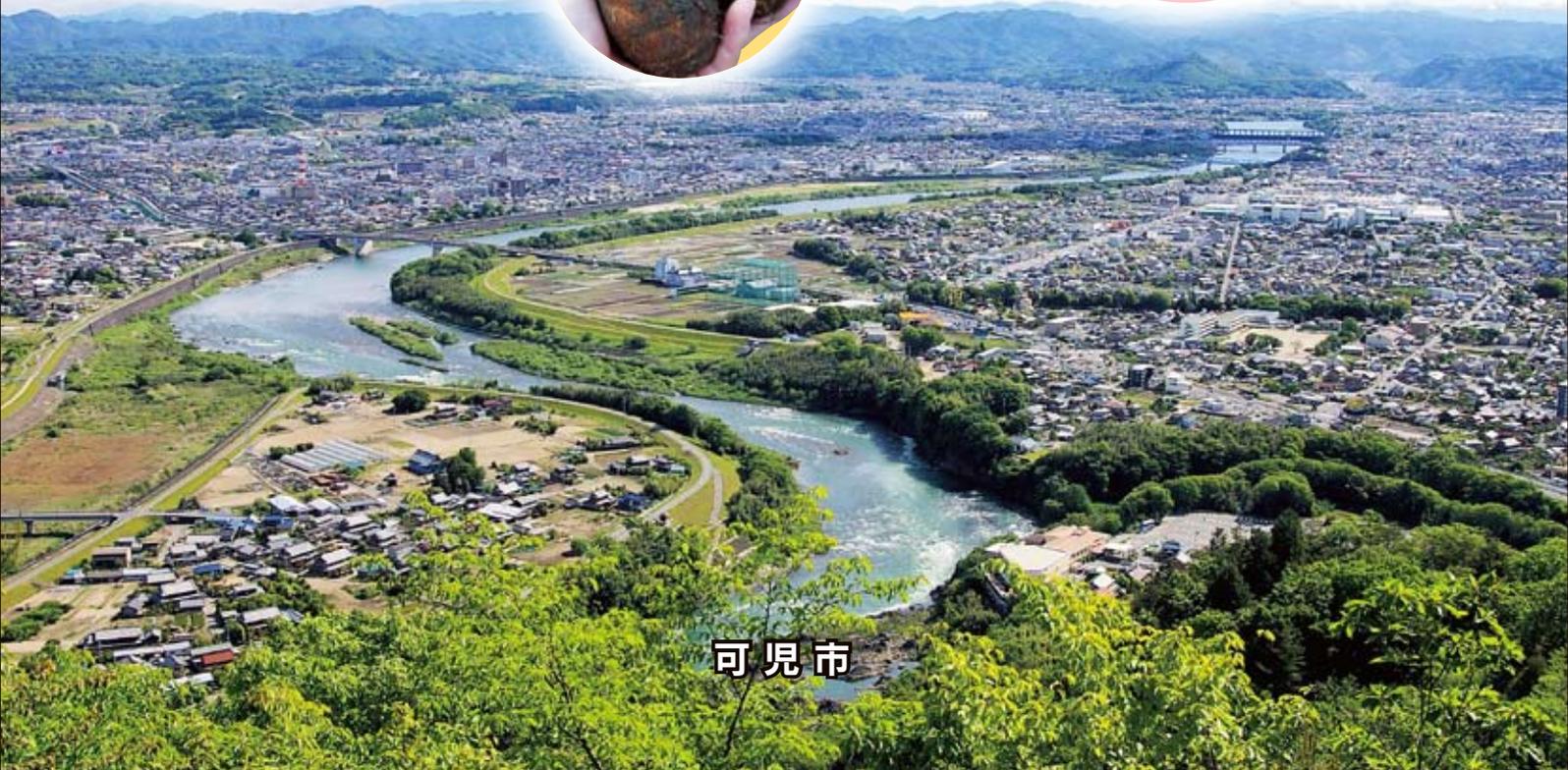




可児市の

# じまんとほこり

2025



可児市



# はじめに

この本は、みなさんに可児市のことをよく知ってもらうために作りました。

みなさんが暮らす可児市は、豊かな自然と文化に恵まれています。そんな可児市には、「じまん」できること、「ほこり」となるようなものがたくさんあります。なかには、日本だけでなく、世界の「ほこり」となるようなものだってあるのです。



自分の住んでいるまちには、素晴らしいことがこんなにたくさんあると、みなさんには胸を張って「じまん」してもらえるとうれしく思います。

そして、今よりもっともっと、ふるさと可児市を大好きになってほしいです。

また、可児市のよいところは、この本にのっていることだけではありません。これからみなさんに、そういったものなどをたくさん見つけてもらい、できれば、これから可児市の主役になっていくみなさんが、新しい「可児市のじまんとほこり」をつくり出していってくれるとうれしく思います。

みなさんといっしょに、将来の可児市をもっと豊かで素敵なまちにしていきたいと思います。

令和7年6月 可児市長 富田成輝

# ～可児の歴史がわかる年表～

時代	可児のできごと	全国のできごと
太古のむかし	化石となっている、多くの大型ほ乳類が生活していた時代 ①	
旧石器	可児に人が来て生活しはじめた ②	
縄文		稲作が日本に伝わる
弥生	久々利銅鐸がつくられる ③ 長塚古墳がつくられる ⑤	邪馬台国の卑弥呼が魏(中国)に使いを送る 日本各地で古墳がつくられる
古墳	川合次郎兵衛塚1号墳がつくられる ⑥ 飛鳥 木簡に可児の久々利のことが書かれる ⑦	大和朝廷が国土の統一をすすめる
奈良	日本書紀に泳宮のことが書かれる ④	平城京に都がうつる 東大寺の大仏が完成する
平安	薬王寺の薬師如来がつくられる ⑧ 明智荘が記録にあらわれる ⑩	平安京に都がうつる 源頼朝が鎌倉幕府をひらく
鎌倉	大井戸の戦いが起こる ⑨	承久の乱が起こる
南北朝		足利尊氏が室町幕府をひらく
室町	可児に城がたくさんつくられる ⑬ ⑭ 戦国 織田信長が森可成に金山城(烏峰城)を与える ⑭	鉄砲が種子島に伝来する
安土桃山	可児で美濃桃山陶が焼かれる ⑪ ⑫ 中山道や太田の渡しを整備される ⑮	豊臣秀吉が全国を統一する 徳川家康が江戸幕府をひらく
江戸	薬王寺の本堂がつくられる ⑧ 石塚岩三郎が土田でガラスづくりをはじめ ⑲	ペリーが浦賀に來航する 大政奉還がされ、明治政府ができる
明治	岐阜県ができる	
大正	可児の近代化がすすみはじめる 加藤新市が久々利でサクライソウを発見する ⑳	第一次世界大戦がはじまる
昭和	太田橋が完成する ⑮ 荒川豊蔵が久々利の大萱で志野の破片を発見する ㉓ 海老衣子のベビーブックが発売される ㉑ さよりめしが日本五大名飯に選ばれる ㉒ 小淵ダムが完成する ⑮ 昭和の大合併で可児町が誕生する ⑮ 荒川豊蔵が人間国宝になる ㉓	第二次世界大戦がおわる 東京オリンピックがひらかれる
平成	可児工業団地ができる ㉔ 可児市が誕生する ⑮ 花フェスタ記念公園(現ぎふワールド・ローズガーデン)がオープンする ⑲ 可児市文化創造センター(ア-ラ)がオープンする ㉒ 兼山町と合併して、新しい可児市が誕生する ⑮ 加藤孝造が人間国宝になる ㉓ 可児市子育て健康プラザ mano(マーノ)がオープンする ㉔	



### 歴史じまん

- ① 大昔は湖だった！ 化石の宝庫可児 ..... 1
- ② 可児のあけぼの 旧石器時代の人たち ..... 2
- ③ 日本最大級の銅鐸 県重要文化財 久々利銅鐸 ..... 3
- ④ 景行天皇のおきさきは可児出身 泳宮の伝説 ..... 4
- ⑤ 東美濃地方最大の前方後円墳 国史跡 長塚古墳 ..... 5
- ⑥ 東海地方最大級の方墳 県史跡 川合次郎兵衛塚1号墳 ..... 6
- ⑦ どうして「カニ」って名前がついたの？ ..... 7
- ⑧ 1000年も前から人々を見守る薬王寺の仏さま ..... 8
- ⑨ 承久の乱 大井戸渡の古戦場跡 ..... 9
- ⑩ 明智光秀のルーツ 明智荘 ..... 10
- ⑪ 美濃桃山陶の聖地 ..... 11
- ⑫ 美濃桃山陶ってなに？ ..... 12
- ⑬ たくさんあるよ！ 戦国時代の城跡 ..... 13
- ⑭ 国史跡 美濃金山城跡 ..... 15
- ⑮ 木曾川とのかかわり ..... 16
- ⑯ 人口増加率が日本一に！ 可児市の誕生 ..... 17

### 自然・名所じまん

- ⑰ 可児のまちと雄大な木曾川を一望！ 鳩吹山 ..... 18
- ⑱ 日本初のロックフィルダム 小淵ダム ..... 19
- ⑲ 世界にほこるバラ園 ぎふワールド・ローズガーデン ..... 20
- ⑳ 市民の力で大変身！ 木曾川渡し場遊歩道 ..... 21

### くらしじまん

- ㉑ 可児の食文化 日本五大名飯 さよりめし ..... 22
- ㉒ 市民文化の拠点 みんなの広場 アーラ ..... 23
- ㉓ 可児市のとりくみが全国に！ こども110番の家 ..... 24
- ㉔ “可”能性あふれる“児”(こ)がそだつまち 可児 ..... 25

### 産業じまん

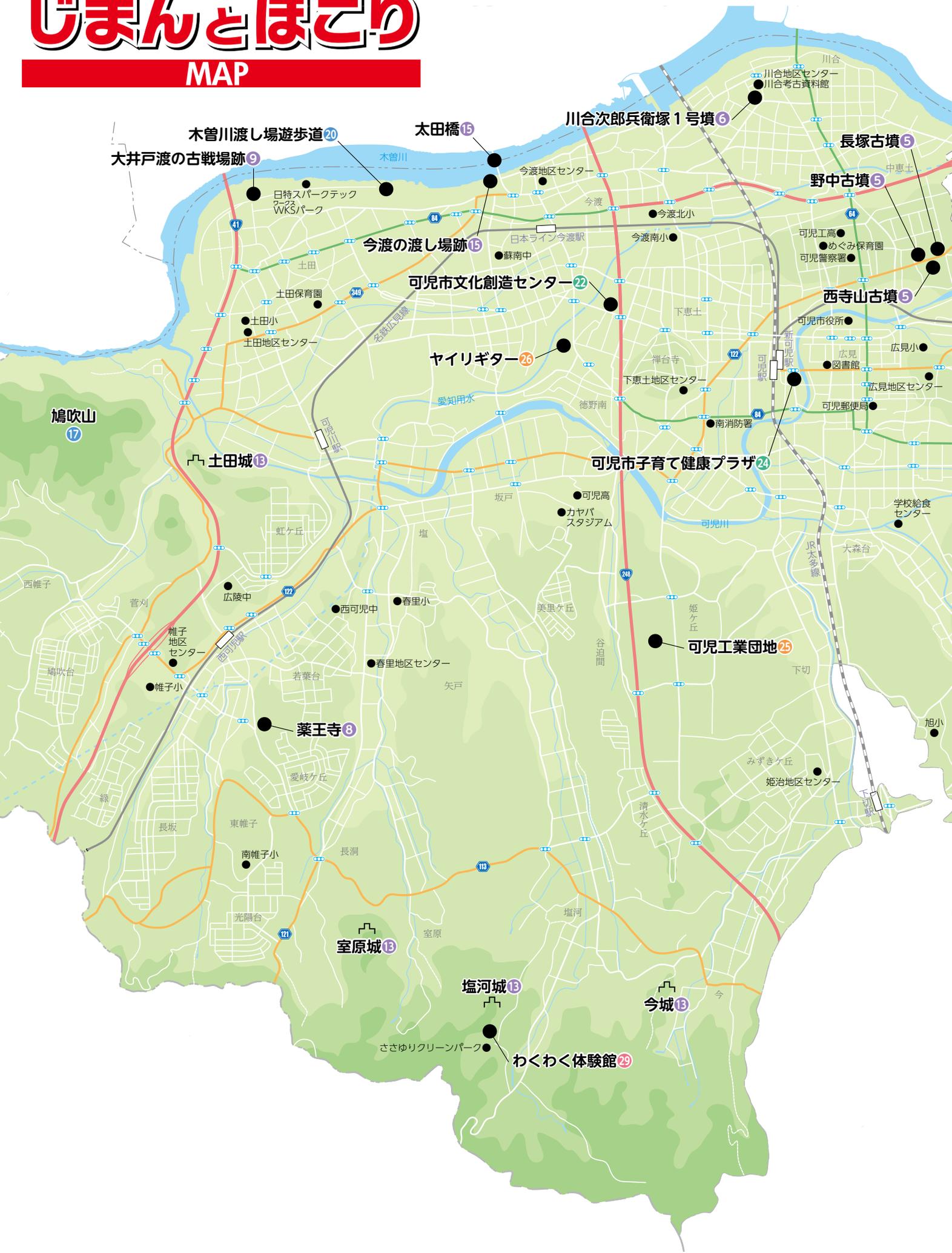
- ㉕ 可児のものづくり ..... 26
- ㉖ 世界のヤイリギター ..... 27
- ㉗ みんなで食べよう！ 可児の特産品 ..... 28

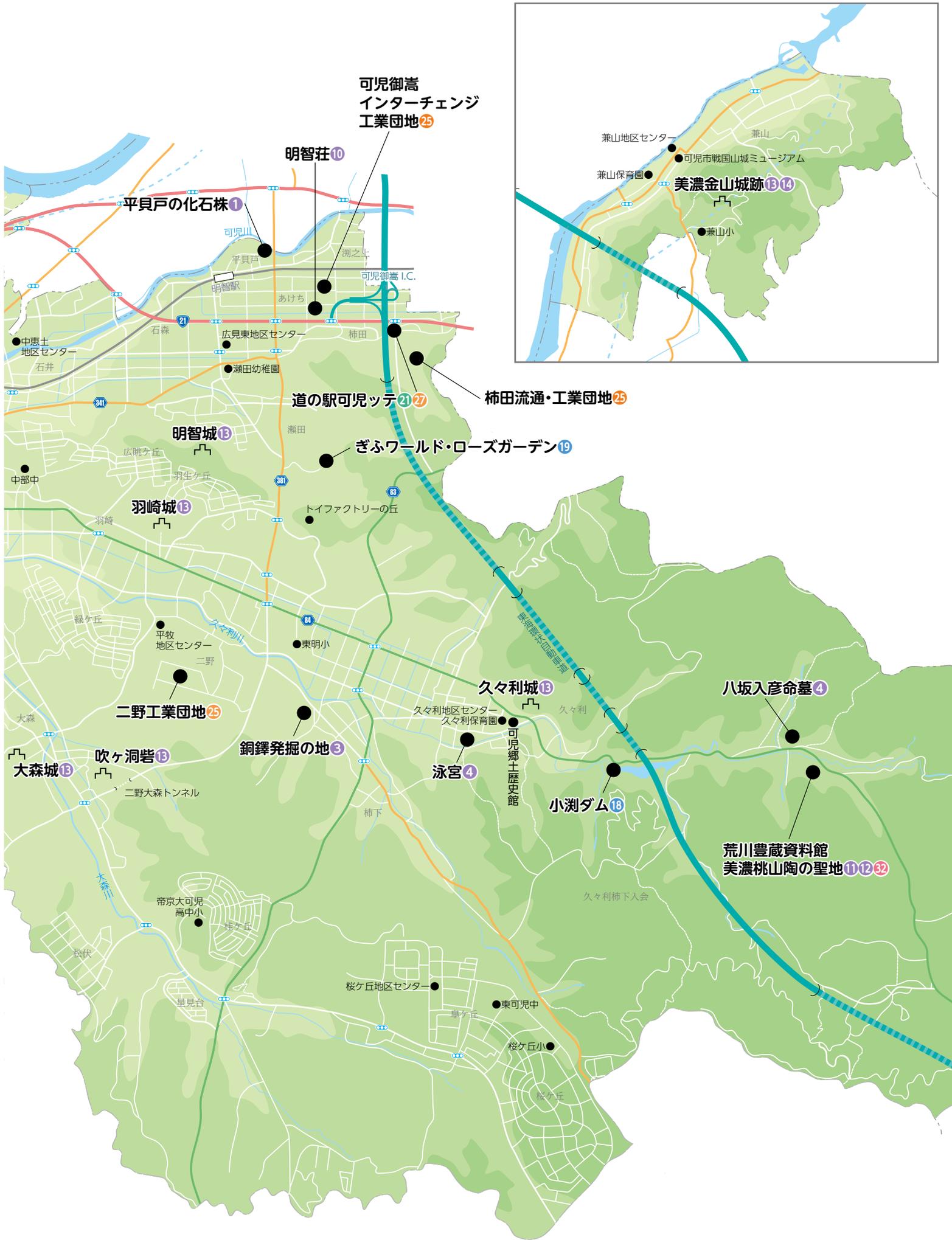
### 人物じまん

- ㉘ 戦国時代の可児の人物 ..... 29
- ㉙ ガラスづくりへの情熱 石塚岩三郎 ..... 30
- ㉚ サクライソウを可児で発見 植物はかせ 加藤新市 ..... 31
- ㉛ ベビーブックの編集者 海老衣子 ..... 32
- ㉜ 人間国宝 荒川豊蔵・加藤孝造 ..... 33

# 可児市の じまんとほこり

## MAP





可児御嵩  
インターチェンジ  
工業団地 25

明智荘 10

平貝戸の化石株 1

美濃金山城跡 13 14

道の駅可児ッテ 21 27

柿田流通・工業団地 25

明智城 13

ぎふワールド・ローズガーデン 19

羽崎城 13

二野工業団地 25

久々利城 13

八坂入彦命墓 4

大森城 13

吹ヶ洞峯 13

銅鐸発掘の地 3

泳宮 4

小淵ダム 18

荒川豊蔵資料館  
美濃桃山陶の聖地 11 12 32

帝京大可児  
高中小

桜ヶ丘地区センター

東可児中

桜ヶ丘小



ヒラマキウマのアゴの化石（複製）



アネクテンスゾウの頭骨の化石（複製）

### すごい point

- ・可児では、貴重な化石がたくさん見つっているよ。
- ・大昔、可児には大きな湖があって、動物たちが生活しやすい環境だったんだよ。

### ◎貴重な化石

可児地域には多くの植物・動物化石がふくまれる地層が広がっていて、貴重な化石がたくさん見つっています。とくに、ゾウ、サイ、ウマ、シカのなかまといった大型ほ乳動物化石がたくさん見つっており、発見された動物化石の数は、日本一といってもよいくらいです。

見つかった動物化石は、「ヒラマキウマ」や「カニサイ」のように、発見された土地の名前が付けられました。ヒラマキウマやカニサイは、今から約1800万年から1900万年前に生きていた動物で、今のウマやサイとはちがう、すでに絶滅している動物です。

### ◎化石株ってなに？

ヒラマキウマが可児にいたころ、この地域には大きな湖があり、周辺に植物がおいしげっていて動物が生活しやすい環境だったと考えられています。

緑ヶ丘の団地をつくるときには、たくさんの植物化石が見つかりました。現在でも、平貝戸地内の可児川では、大きな木の株が、立った状態で化石になったもの（化石株）を見ることができます。これはメタセコイアという、今は日本に自生していない木の化石です。



平貝戸の化石株

### ◎足あとの化石も発見！

平成21年6月、下切地区の河川改修工事のさい、動物の足あとと思われる化石が大量に見つかりました。足あとの化石は、約300㎡の範囲に大小650個ほどが確認されました。この足あとは、いろいろな動物が水辺に集まっていたことを示すものです。

動物の足あとと思われる化石  
(下切地区)

## すごい point

- ・可児でも約2万年前に人がいたことが、石器からわかったよ。

### ◎人類が誕生し、広がらまで

地球上に人類が登場したのは、今から約650万年前です。初期の人類は、大型霊長類と共通の祖先から分かれ、ヒトへと進化してきました。

以前は、猿人→原人→旧人→新人の四つの段階を経て、現在のヒトにいたったとされていました。

しかし、近年では猿人から新人へ一直線の系図は引けず、複雑な進化をたどったと考えられており、旧人と新人の区分もあいまいです。

現在の研究では、アフリカで出現した人類が約7万年前に世界へ広がっていったとされています。

### ◎約2万年前の石器

可児へ人が来たのは、約2万年前のことです。建物のあとなどは見つかりませんが、当時の人々が使用した石の道具（石器）が、下恵土や川合で見つかります。

旧石器時代の人たちには、鉄などで道具を作る技術がなかったため、石や木などを加工して道具を作っていました。

見つかった石器は、石材を割ったり欠いたりしながら、ナイフのように加工したものです。



川合地区で見つかった石器

### ◎旧石器時代の人々の生活は？

2万年前に可児にいた人々は、食べ物となるものを探して、移動しながら生活していたのかもしれませんが。お米や麦といった作物はつくることをせず、木の実を拾ったり、魚をとったり、ときには動物を狩って食べていたと考えられています。

### ◎道具から見られる交流のあかし

可児では、黒曜石というガラスのような材質の石が見つかります。黒曜石は可児ではとれない石で、長野県などの山にあります。このことから、旧石器時代の可児の人々がいくつかの地域との交流を通じて、長野県の石材を手に入れていることが分かります。



黒曜石

### すごい point

- ・高さが111.5cm、重さが24.45kgもある大きな銅鐸だよ。
- ・今から約1800年前につくられたんだ。

江戸時代の享保18年（1733）に、久々利の丘陵地で銅鐸が出土しました。この銅鐸は、出土地の地名をとって、「久々利銅鐸」とよばれています。

現在の高さは111.5cm、重さは24.45kgで、今までに日本全国でみつかった銅鐸のなかでも特に大きなものです。一部が欠けていますが、表面を見ると細かな文様が表現されています。

久々利銅鐸は、今から約1800年前の弥生時代につくられたと考えられています。さびて緑色をしています。つくられた当時は、神秘的な金銅色のかげやきを放っていました。

弥生時代の可児には、このようなりっぱな銅鐸を持つことができる豊かなムラがあったのかもしれませんが。



久々利銅鐸

### ◎銅鐸は何に使われていた？

銅鐸が何に使われていたのかという「なぜ」については、さまざまな説があります。

「作物がたくさんとれるように」「雨が降りますように」「災害が起こらないように」など、当時の人々の思いをこめたおまつりや儀式の道具だったという説。

また、悪いものの進入を防ぐために、ムラの境界の山などにうめたという説もありますが、はっきりとは分かっていません。

### ◎「聞く銅鐸」と「見る銅鐸」

初期の銅鐸は小さなもので、楽器のように鳴らす道具として使われていました。銅鐸の内側に「舌」という棒のようなものがぶら下がっていて、ベルのように鳴らしたと考えられています。これは「聞く銅鐸」とよばれるものです。

その後、しだいに大きな銅鐸が作られるようになり、鳴らすための「舌」がなくなってしまう。これは「見る銅鐸」とよばれるものです。久々利銅鐸は、日本最大級の「見る銅鐸」であり、岐阜県の重要文化財に指定されています。



銅鐸づくりの想像図

（公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団）  
（愛知県埋蔵文化財センター提供）



泳宮公園 (久々利地区)



八坂入彦命の墓 (久々利地区)

### すごい point

- ・日本書紀という約1300年前の書物には、「ククリ」という場所での物語が書いてあるよ。

奈良時代に書かれた『日本書紀』という書物の中には、美濃国みののくに（現在の岐阜県美濃地方）の「ククリ」にまつわる物語が書かれています。『日本書紀』には、天皇が「ククリ」を訪れてしばらく滞在し、その間にきさきをみつけたことが記されているのです。

### ◎泳宮の伝説

ククリを訪問したのは景行天皇。冒険伝説で有名な、ヤマトタケルの父にあたる人物です。美濃国の「ククリ」を訪れた景行天皇は、弟媛おとひめという美女の存在を耳にします。弟媛は八坂入彦命やさかいりひのみことの娘であり、八坂入媛という姉がいました。

天皇は弟媛との結婚を望みますが、弟媛は竹林にかくれてしまいました。そこで天皇は、仮の住まいである「くくりのみや」(泳宮)に滞在し、池に鯉を泳がせて弟媛が来るのを待っていました。弟媛は鯉を見ようと、こっそり泳宮にやってきたところ、天皇に見つかってしまいます。天皇は弟媛にプロポーズをしますが、弟媛は天皇にとつぐことを断り、姉の八坂入媛を自分の代わりにきさきにすることをすすめ、天皇はそれを受け入れました。その後、天皇と八坂入媛との間には、七人の男の子と六人の女の子が生まれました。

『日本書紀』が書かれた西暦720年ごろ（今から約1300年前）には、奈良の都みやこにこの物語が伝わっていたことは間違いありません。

また、「ククリ」という地名は、歴史じまん⑦に登場する木簡もっかんや、日本最古の和歌集である『万葉集』の中にも登場します。「ククリ」は、当時の都の人にとっても、よく知られた地名であったようです。この「ククリ」は、現在の可児市の「久々利」だと考えられています。天皇が滞在した「泳宮」のあととされる場所が、伝説の場所として久々利地内に残されています。



長塚古墳（中恵土地区）



### すごい point

- ・東美濃地方で一番大きな前方後円墳だよ。
- ・大きな力を持っていた人物が、可児にいたんだね。

のなか にしてらやま  
長塚古墳、野中古墳、西寺山古墳の  
3つを合わせて「前波の三ツ塚」と  
よんでいるよ。

### ◎古墳ってなに？

古墳とは、古墳時代につくられたお墓です。今から約1750年前～約1300年前までの間に多くの古墳がつくられました。その時代を古墳時代とよんでいます。

古墳は、おもに土と石を積み重ねてつくられています。前方後円墳をはじめ、前方後方墳、円墳、ぜんぼうこうほうぶん えんぶん方墳、横穴墓などの種類があります。

### ◎東美濃地方で一番大きな古墳

可児市では、古墳時代の間に約400基もの古墳がつくられたと考えられていますが、その中でも一番大きなものが中恵土にある前方後円墳の長塚古墳です。

長塚古墳は、可児市だけでなく東美濃地方全体でも一番大きな古墳で、全長約72m、高さが7mもあります。

### ◎長塚古墳は、だれのお墓？

では、この大きな古墳はいつだれのお墓なのでしょう？

このような大きさの古墳をつくるには、多くの人々の労力が必要です。

長塚古墳からは、銅鏡やガラス製の管玉、石製の腕輪などが見つかっています。これは大きな力を持つ人物しか所持できなかったものです。

古墳の大きさや見つかった品物から考えて、長塚古墳は、可児をふくむ東美濃一帯を支配していたリーダーのお墓と考えられます。



長塚古墳から出土した  
銅鏡や管玉等

# 東海地方最大級の方墳

さいだいきゅう ほうふん

## 川合次郎兵衛塚1号墳

けんし せき かわい じろ べえづか 1 号墳

歴史じまん



川合次郎兵衛塚1号墳（川合地区）



空中写真（発掘調査時）

### すごい point

- ・東海地方で最大級の方墳だよ。
- ・石室が3つもあるめずらしい古墳だよ。

川合公民館の東側には、大きな石積みの方墳があります。

川合次郎兵衛塚1号墳は、7世紀の初めごろ（今から約1400年前）につくられました。歴史じまん⑤の長塚古墳より200年以上も後につくられた古墳です。この古墳は、上から見た形が四角いので、方墳といいます。一辺の長さは約30mで、方墳の中では、東海地方でも最大級の大きさです。

### ◎たくさんのふき石

川合次郎兵衛塚1号墳の特徴は、一番上の部分以外が川原石でおおわれていることです。このように積まれた石を「ふき石」と言います。全体で約2万個の石が使われています。

### ◎3つの石室

この古墳には、横穴式の石室が3つもあります。石室とは、亡くなった人を納める場所です。普通は、横穴式石室が1つですが、ある時期に2つの石室を増やしています。追加でつくられた石室は親族用で、東側の小さな石室は、こども用だと考えられています。

### ◎巨大な石

川合次郎兵衛塚1号墳の石室には、とても大きな石が使われています。天井やかべには、川合ではとれない石も使われています。ダンプカーやクレーンのない時代、人の力で運んできて積み上げられました。長塚古墳と同じように、この古墳をつくった人は、多くの人に指示する力を持ち、今の可児市よりずっと広い可児地域全体を治めていたことが想像できます。

## すごい point

- ・「カニ」という地名は、約1300年以上も前からあるんだよ。
- ・なぜ「カニ」というのか、さまざまな説があるんだね。

「カニ」という地名はとてもめずらしく、全国でも同じような地名はほとんどありません。

西暦677年、美濃国（現在の岐阜県美濃地方）から現在の奈良県明日香村に運ばれた荷物に付けられた木簡（木の札）には、「加爾」と書かれていました。これが、現在みつかった「カニ」の地名のもっとも古い記録です。その木簡には、「久々利」という地名も書かれています。

今から1300年以上も前に、「カニ」や「久々利」という地名があったのですね。

では、「カニ」という地名はどうしてついたのでしょうか？  
いくつかの説を紹介します。



木簡が見つかった飛鳥池遺跡  
(奈良県明日香村)



奈良県飛鳥池遺跡出土の木簡  
(複製)

## ◎お寺の名前から？

御高町の願興寺（通称可児薬師）のお薬師様が「蟹」の背中に乗ってきたことから、「カニ」と呼ぶようになったとの伝説があります。

しかし、お寺ができた時よりも木簡に書かれた年代のほうが古いため、疑問が残る説です。

## ◎川の名前から？

可児川の名前から、「カニ」と呼ぶようになったという説もあります。

昔は、モノが曲がっていることを「カネ」と呼んでいました。可児川は、ぐねぐねと曲がっているので「カネガワ」といい、それがなまって「カニガワ」というようになったのではないかと考えられます。



## ◎豪族の名前から？

むかし、このあたりに「和珥氏（ワニシ）」という豪族がいたとの説があります。「ワニ」の「和」は「カ」と読むこともあり、「ワニ」の読みが「カニ」へと変化したのではないかというものです。

以上の説はすべて推測です。結局、「カニ」の地名がとても古くからあるため、どうして「カニ」という地名がついたかについては結論が出ません。



薬王寺本堂（帷子地区）



薬王寺の仏像

### すごい point

- ・約1000年前の平安時代につくられた仏像があるよ。
- ・仏像やお寺を、地域の人たちが力を合わせて守ってきたんだね。

### ◎薬王寺とは

薬王寺は、東帷子にある天台宗という宗派のお寺です。

薬王寺のお堂には、仏像などのたくさんの文化財があります。薬王寺のお堂は、江戸時代に建てられたもので、現在可児市内に残っている建物の中でも特に古いものの一つです。

薬王寺でいちばん大きな仏像は、高さが2.7mもある本尊の薬師如来坐像です。この薬師如来は、病氣治療の仏さまとして信仰されており、今から約1000年前の平安時代につくられました。その胴体部分には、一本の大きな木が丸ごと使われています。

薬王寺には薬師如来以外に6体の仏像があるほか、のき先に彫られている2匹の竜は、生きているかのように動いたという伝説のある彫刻です。薬師如来をふくめたこれらの仏像と彫刻は、建物とともに文化財に指定されています。

### ◎薬王寺の自然

薬王寺の境内北側のため池では、絶滅危惧種に指定されている「ヒメコウホネ」や、千葉県いせきの遺跡から発見されたハスの種からよみがえった「大賀ハス」が6～8月ごろにきれいな花をさかせます。



ヒメコウホネ



大賀ハス



大井戸渡の古戦場跡（広角撮影：左が可児市）

### すごい point

- ・可児市でおこった最も大きな戦いだよ。
- ・鎌倉時代、日本の歴史を変えた戦いが可児市（土田）で始まったんだよ。

### ◎大井戸の戦いとは

昔、可児市を通っていた大きな道路「東山道」は、現在の土田の渡地区付近で木曾川を渡っていたと考えられています。その頃の土田周辺は「大井戸」という地名で知られていました。鎌倉時代に起こったとても大きな戦いである「承久の乱」（1221年）は、京都から進んできた朝廷軍と、鎌倉を出発した幕府軍が、ここ大井戸で最初に交戦しました。

鎌倉を出発し、東山道を進んできた幕府軍は、木曾川の左岸（可児市側）に布陣しました。一方、

これを阻もうとする朝廷軍は、木曾川の右岸（美濃加茂市側）でこれを迎えました。幕府軍は、10倍以上といわれる兵力をもって木曾川を渡し、朝廷軍を敗走させました。

この「承久の乱」は、最終的に北条義時を中心とした幕府軍が勝利しました。鎌倉幕府はこの戦いを契機に全国支配を確実なものとしていったとされています。

可児の地で始まった戦いが、その後の日本の歴史に大きな影響を与えていったのです。





明智荘（広角撮影：明智城跡より）

### すごい point

- ・平安時代から記録にあらわれるとても古い<sup>しょうえん</sup>荘園なんだ！
- ・明智光秀の一族のルーツは明智荘である可能性が高いよ。

### ◎平安時代から栄えた荘園

荘園とは、貴族や寺社が所有している土地のことをいいます。明智荘（明知荘）は、現在の可児市北東部から、御嵩町西部にかけて存在した荘園の名前です。明智荘は承暦2年（1078）の記録に登場しますので、今から約1000年前にはすでにあつたことが分かります。これは、確認されているなかでは可児市内で最も古い荘園となります。

明智荘は、はじめは藤原氏が所有し、その後、石清水八幡宮（京都府）の所有となりました。鎌倉

時代の後期になると、各地で力を蓄えてきた武士たちが荘園を実質的に支配するようになっていきますが、明智荘も地元の武士たちが実質的な所有権を握っていったものと思われます。

### ◎明智光秀のルーツ

はっきりとした記録は残っていませんが、西暦1340年代から「土岐」という名字の一族が明智荘に住み、明智と名乗るようになったようです。

これが「土岐明智氏」と呼ばれる一族であり、後に戦国武将・明智光秀を輩出することになります。諸説あるものの、明智光秀のルーツは先祖が住んだ可児の明智荘であつた可能性が高いでしょう。



明智光秀公像（明智城跡）

## すごい point

- ・可児ですばらしい焼きものがつくられたんだよ。
- ・久々利の大萱は、国宝の志野茶わん「卯花牆」が生み出された場所なんだ。

## ◎織田信長とかかネリがあった!?

天正元年(1573)、織田信長の許可を受けて、加藤景豊という人物が久々利の大萱で陶器を焼く窯を造りました。その後、景豊の子の景成が久々利大萱で陶器を焼き始めました。

この時期に、可児をふくむ東美濃で焼かれた陶器を「美濃桃山陶」といいます。美濃桃山陶が焼かれた期間は短く、可児で焼かれていたことは、いつしか忘れられていきました。

## ◎焼きものの歴史が変わる大発見

昭和5年(1930)、荒川豊蔵が久々利大萱で志野の破片を発見しました。それまで、志野などの桃山陶は愛知県瀬戸市で焼かれていたと考えられていましたが、この発見により、可児で焼かれていたことが、はじめて明らかになりました。

これは、日本の焼きものの歴史が変わる大発見でした。

## ◎桃山文化の流行を生み出した地

久々利の大萱や大平には、安土桃山時代から江戸時代のはじめにかけてつくられた窯跡がいくつもあり、志野などの美濃桃山陶が焼かれていました。

なかでも、牟田洞窯では、約400年前に現在「卯花牆」と名が付く国宝の志野茶わんが焼かれたといわれています。

志野の破片を発見した荒川豊蔵は、この場所で作陶をはじめ、昭和30年(1955)に人間国宝に認定されました。約400年前に国宝の茶わんがつけられ、人間国宝の荒川豊蔵が作陶を行った特別な場所なので、久々利の大萱は「美濃桃山陶の聖地」と呼ばれています。



美濃桃山陶の聖地(荒川豊蔵資料館)



荒川豊蔵が発見した志野の破片

国宝の志野茶わん「卯花牆」  
(三井記念美術館所蔵)

豊蔵が住んでいた家

美濃桃山陶の聖地・久々利大萱には、荒川豊蔵の作品や集めたものを展示する荒川豊蔵資料館があります。また、豊蔵が住んでいた家や、陶器を作った作業場などを見学することもできます。

また、荒川豊蔵資料館の敷地内には、美濃桃山陶が焼かれた窯跡(牟田洞古窯)も残っています。

## すごい point

- ・可児でつくられた美濃桃山陶が「茶の湯文化」を支えたんだ。
- ・志野は、日本ではじめて「絵」を描きこんだ焼きものだったんだ。

室町時代以降、茶の湯が武士や商人などを中心に流行しました。それまで、良い茶器は中国や朝鮮でつくられたものが主流でしたが、千利休や古田織部という茶人が国産の陶器の価値を高めていきました。

可児をふくむ東美濃では今までに無かった新しい色や形の焼きものがつくられ、多くの茶人に愛されました。

これらの焼きものを美濃桃山陶といいます。

## 美濃桃山陶の種類

◎瀬戸黒 … 焼いている途中で窯の中から引き出し、急に冷やすことで黒くした焼きものです。茶を飲む器として使われます。

◎黄瀬戸 … 薄い黄色の焼きものです。草や花を線で刻んで描き、一部に茶色や緑色の色をつけるものもあります。

◎志野 …… 筆で下絵を描き、その上に白い薬をかけて焼いたものです。筆で陶器に下絵を描くことは、日本では志野からはじまりました。

◎織部 …… 土岐市で焼かれはじめたといわれます。たくさんの色が使われた、ユニークなデザインの焼きものです。可児市では、「弥七田織部」と名がつく、美しい織部が焼かれました。



瀬戸黒



黄瀬戸



志野

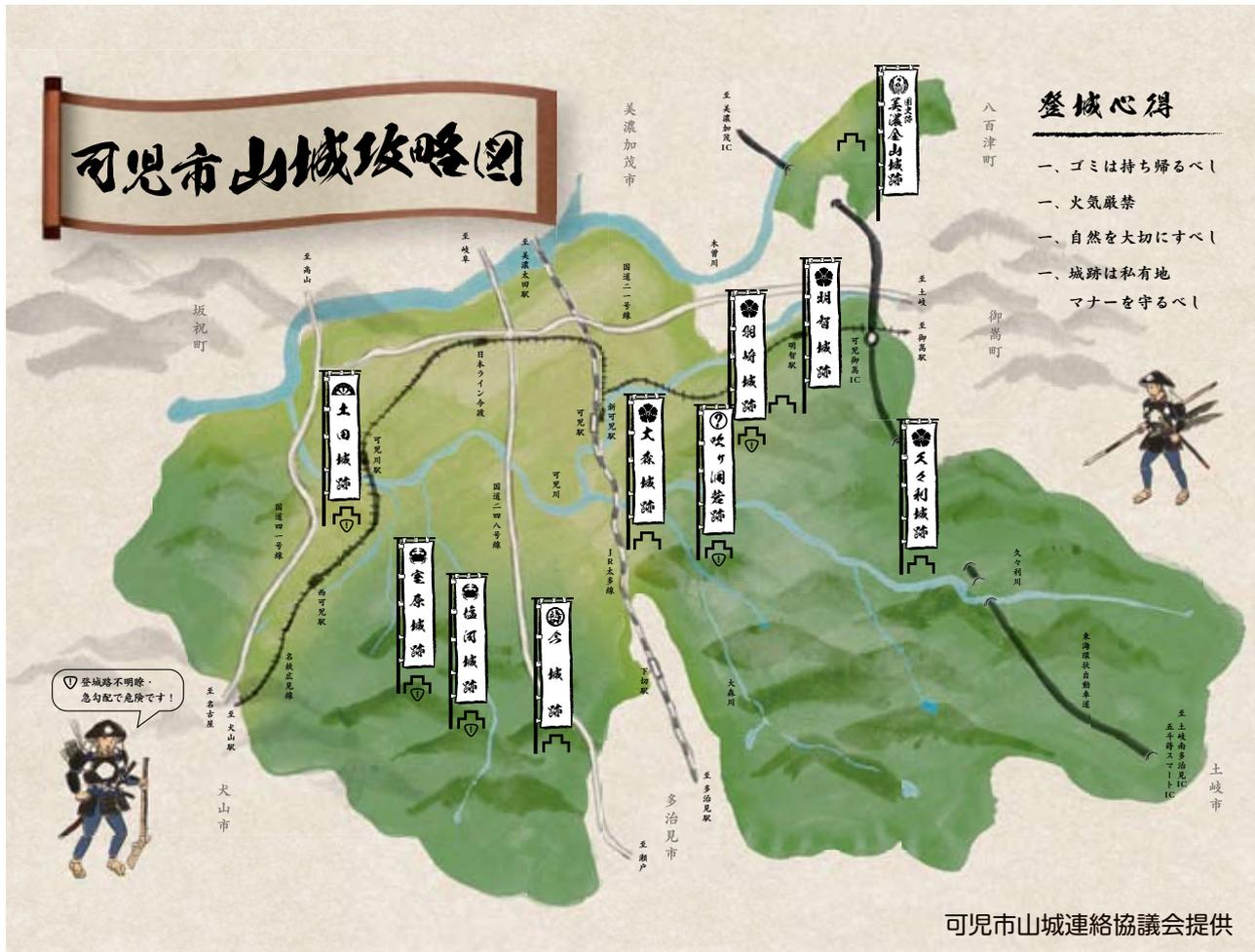


鼠志野

やしちだおりべ  
弥七田織部なるみおりべ  
鳴海織部あかおりべ  
赤織部くろおりべ  
黒織部

## すごい point

- ・可児市には、10か所の戦国時代の城跡があるよ。
- ・それぞれのお城に役割や特徴があったんだね。



全国には、山城のあとが3～4万か所あるといわれており、可児市には伝承もふくめて10か所もの城跡があります。

## ◎城が築かれた理由

可児にたくさんの城跡があったのは…

- ①人やものの移動に便利な木曾川や飛騨川があること
- ②りっぱな道である中山道が通っていたこと
- ③美濃国（岐阜県）と尾張国（愛知県）の国境に位置すること

など、交通上や地理上の理由が考えられます。

可児に築かれたお城の多くは、徳川家康と豊臣秀吉という、後の天下人が争った小牧・長久手の戦いにおいて、重要な役割を果たしました。その後、徳川家康によって江戸幕府が開かれ、平和な時代が訪れると、その役割を終えました。



## みのくに 美濃国をおさめた守護大名土岐氏一族の城

土岐氏一族のお城としては、久々利城、明智城、羽崎城がありました。特に久々利城は大きなお城でした。このお城の出入口はとても複雑で、一度に多くの人々が攻められないように、入りこんだ人を迷わせるようにつくられています。その他にも人が簡単に登れないような急な斜面が特徴です。



久々利城復元イラスト  
(株式会社パロマ提供)



久々利城跡

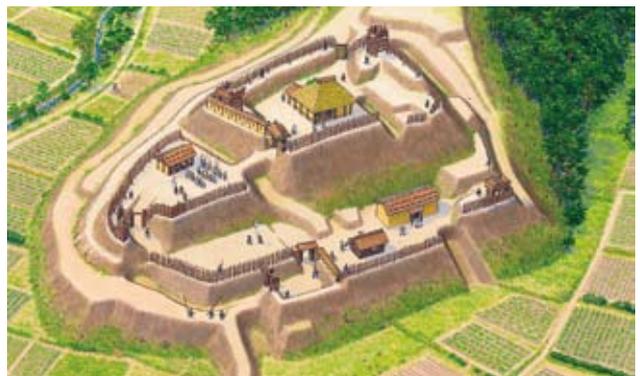


## 村を守るための城

大森城や今城、室原城などはもともと、村を守るための小さなお城でした。その後、大きな戦いのためにつくりかえられました。塩河城、吹ヶ洞岩は戦いのために新しくつくったお城なのかもしれません。



大森城復元イラスト



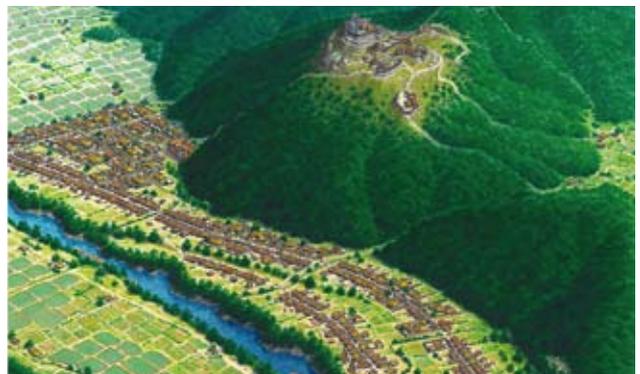
今城復元イラスト



## 重要な場所に築かれた城



土田城跡からのながめ



美濃金山城下町復元イラスト

美濃国と尾張国の境にあたる土田地区には土田城が築かれました。美濃金山城は、織田信長や豊臣秀吉の家臣である森氏が城主となって、高い石垣や住むための建物が作られ、東美濃全体を支配するための中心になった城です。

## すごい point

- ・ 織田信長や豊臣秀吉の家臣として活躍した森氏一族のお城だよ。
- ・ 石垣などのお城のしかけが、昔のまま残っているよ。



美濃金山城復元イラスト



本丸跡の様子

## ◎美濃金山城とは

美濃金山城は、織田信長や豊臣秀吉が生きた時代のお城です。「山城」と呼ばれる種類のお城で、防ぎよの上で有利となるように、地形を上手に利用しています。美濃金山城跡では、高い石垣や建物のあとがわかる柱の土台石をみることができます。また、お城を使わなくなったときにこわしたあとも見ることができます。

このお城は、美濃国が信濃国（長野県）から攻められないための、大事なお城でした。

## ◎美濃金山城のなりたち

美濃金山城は、天文6年（1537）に斎藤正義という人物によって築かれ、烏峰城と名付けられました。斎藤正義は久々利城の土岐悪五郎によって殺されてしまいます。

その後、尾張国（愛知県）にいた織田信長が永禄8年（1565）に烏峰城を手に入れ、家臣の森可成を城主とし、お城の名前を金山城と改めました。

## ◎森氏一族の城

森可成が亡くなった後は、息子の長可、乱丸、忠政が城主となりました。森氏一族は、約40年間金山（兼山）を治めました。慶長5年（1600）の森氏の転封にともない、城はこわされましたが、その資材一式は犬山に運ばれ、再利用されたという伝承があります。これは「金山越」と呼ばれています。



米蔵跡の石垣

## すごい point

- ・木曾川に橋がなかった時代は、木曾川を船で渡っていたんだよ。
- ・昔から、可児の人々のくらしは木曾川と密接にかかわっていたんだね。

木曾川は、可児市の北側を流れている大きな川です。長野県の鉢盛山を水源として、けわしい流れとなって谷を下り、岐阜県・愛知県・三重県を通過、伊勢湾へと注いでいます。

## ◎木曾川を渡る

可児には、江戸時代の重要な道路の一つである中山道が通っていました。中山道は江戸と京都をつなぐ道でしたが、可児付近で木曾川を渡る必要がありました。

太田橋ができる前は、人々は船に乗って木曾川を渡っていました。船の発着場のことを「渡し場」といい、可児では今渡に渡し場がありました。この渡し場は、現在の美濃加茂市の太田まで渡るので「太田の渡し」と呼ばれ、木曾川が増水すると渡れなくなるので、中山道の難所となっていました。

昭和2年(1927)、今渡の渡し場の近くに太田橋がかけられ、いつでも安全に渡ることができるようになりました。

## ◎観光地として

可児付近の木曾川の風景は、ドイツのライン川流域の風景と似ていることから、大正時代には「日本ライン」と呼ばれるようになりました。

昭和6年(1931)には、可児から犬山市(愛知県)までの流域・約12kmの区間が国の「名勝」に指定されました。「名勝」とは、特にすぐれた風景がある場所のことです。

こうして、美しい木曾川の風景を見るために、多くの人々が可児を訪れるようになりました。なかでも、木曾川を船に乗って下る「日本ライン下り」は観光客に人気がありました。

土田の日本ライン下り渡船場付近は、現在は公園となっており、散策しながら季節の草花や木曾川の風景を楽しむことができます。



江戸時代の太田の渡し(手前側が可児と思われる)  
(中山道広重美術館所蔵)



太田橋開通式(昭和2年)  
(今渡 田口宏家資料)



現在の太田橋



日本ライン下りの乗船場(昭和45年)



合併前の可児



可児市の市章

可児市の「可」の字を近代的なセンスで図に表しています。融和と、かぎりない可能性を表しています。

### すごい point

- ・可児市になるまえの可児町は、7つの町村が合併して誕生したんだ。
- ・可児市が誕生したころは、人口増加率が日本で1番高かったんだ。

### ◎可児町の誕生(昭和の大合併)

可児市が「市」になる前は、可児町という名前でした。

可児町は、昭和30年(1955)に広見町・今渡町・土田村・帷子村・春里村・平牧村・久々利村の7つの町村が合併して誕生しました。その後、中恵土地区と姫治地区も可児市に編入されました。

昭和40年代になると、可児町には新しい住宅団地が次々とつくられ、人口が急増しました。日本の町の中で5番目に人口が多く、人口増加率は日本で1番でした(昭和55年国勢調査より)。

### ◎可児市の誕生

可児市は、昭和57年(1982)、岐阜県で14番目、全国で650番目の市として誕生しました。市制記念式典や祝賀パレードが行われたほか、可児市音頭が発表されたり、記念品がつくれるなど、多くの人が可児市の誕生をお祝いしました。

また、同時に国鉄(今のJR)広見駅が可児駅に、名鉄広見駅が新可児駅に、名鉄伏見口駅が明智駅へと名前が変わりました。

### ◎平成の大合併

平成17年(2005)には、平成の大合併により、可児市は可児郡兼山町と合併しました。この合併により、可児市の面積は87.57km<sup>2</sup>となり、人口は10万人をこえました。



市制記念イベントの様子



鳩吹山



山頂からのながめ

### すごい point

- ・ 標高313mの鳩吹山は、見晴らしがばつぐんだよ。
- ・ 年間を通して自然豊かな鳩吹山は、市内外からの登山客でにぎわっているよ。

### ◎鳩吹山ってどんな山？

可児市の西のほしにある鳩吹山は、高さが313mある、市内で2番目に高い山です。

今は、みんなが「鳩吹山」と呼んでいますが、昔は「天神山」や「土田山」とも呼ばれていました。鳩吹山は、チャートという硬い石でできた山です。約2億年前は海の底にありましたが、ながい年月をかけて今の高さになりました。



### 鳩吹山のいいところ

### ◎頂上からのながめが絶景！

頂上からは、可児のまちや名勝木曽川、そして遠くの白山連峰や御嶽山、日本アルプスの山々を一望することができます。30分ほどで気軽に登ることができる山ですが、頂上からの景色が美しく、登山の達成感が得られることが魅力です。

### ◎登山ルートが充実している！

鳩吹山には、大脇、カタクリ、真禅寺、西山、石原の5か所の登山口があります。

登山ルートによって距離や難易度が違うので、初心者からベテラン登山者まで多くの人を楽しめます。※大人の人と一緒に登りましょう。

### ◎自然が豊か！

年間を通して、自然豊かな鳩吹山ではたくさんの種類の植物を観察したり、バードウォッチングを楽しむこともできます。



鳩吹山山頂



初日の出



登山の様子



小淵ダム (久々利地区)



小淵ため池

### すごい point

- ・日本で最初に完成した石積み式のダムだよ。

久々利には、小淵ダムという日本ではじめて完成したロックフィルダムがあります。ロックフィルダムとは、石を高く積み上げてつくったダムのことです。小淵ダムは、昭和24年（1949）から工事がはじまり、昭和27年（1952）に完成しました。

当時、このつくり方は日本初の取り組みだったため、海外からたくさんの資料を取りよせて設計されました。

### ◎ダムがつくられた理由

では、なぜこのダムがつくられたのでしょうか？

可児川とその支流は、昔から大雨が降るとあふれて、畑や田んぼを水ぼつさせていました。家が流されて人が亡くなることもありました。

大雨による災害を防止するため、また雨が降らない時期の田んぼの水を確保するために、昭和30年（1955）までに可児郡全体で8か所の防災ため池がつけられました。

その中の1つが小淵ため池で、小淵ダムはため池の水をせき止めるためにつくられたのです。

### ◎ダムの大きさとみどころ

完成したダムの高さは18.37mで、6階建て建物と同じくらいの高さです。ダムにためておける水の量は55万1925m<sup>3</sup>で、25m プール約1300杯分にもなります。

現在、小淵ダムの周辺は公園として遊歩道などが整備され、散策コースとしてたくさんの人に親しまれています。

小淵ダムの底には、明治時代に天然の氷をつくっていた「氷場」のあとが残っています。ダムの水が少なくなる冬の時期には、その姿を見ることができます。



ウェルカムガーデン



バラのアーチ

### すごい point

- ・バラへの愛は世界一！世界にほこれるバラ園だよ。
- ・年間を通して、いろいろな花が見られるよ。

可児市瀬田にある「ぎふワールド・ローズガーデン」は、世界にほこるべき公園です。この公園は、平成7年（1995）に花の博覧会「花フェスタ '95ぎふ」の会場として、岐阜県が整備を行い、平成8年4月に「花フェスタ記念公園」としてオープンした県営の施設です。令和3年（2021）10月には「ぎふワールド・ローズガーデン」へと生まれ変わりました。

### ◎たくさんのバラ

ぎふワールド・ローズガーデンは、1年を通じて季節の植物を観察することのできる「バラと花のテーマパーク」であり、園内にはたくさんの樹木や花が植えられています。その敷地面積はバンテリンドームナゴヤ17個分もあり、園内には県内最大規模の大型遊具や高さ45mの「花のタワー」もあります。

この公園には約6,000品種20,000株のバラが植えられています。この種類や株数の多さ、春から秋にかけてくり返し咲く「四季咲き」の品種や、野生のバラに近い品種のコレクションなど、多くの美しいバラを見ることができます。



園内の大型遊具



花のタワー

## すごい point

- ・竹林に囲まれてリフレッシュ！
- ・荒れていた竹やぶが、地域の人の力で昔と同じ景色をながめることができる素敵な遊歩道に、よみがえったんだ。

## ◎昔のようす

江戸時代、今渡には木曽川を渡る旅人でにぎわった渡し場がありました。

昭和2年（1927）に太田橋が完成すると、向こう岸との往来はずっと楽になりました。役目を終えた今渡の渡し場は使われなくなり、周辺には竹がしげるようになっていきました。

## ◎遊歩道の整備

平成19年（2007）、この竹やぶを整備して、市民の健康づくりやいこいの場所にしようと、「木曽川左岸遊歩道友の会」という地域のボランティア団体が立ち上がりました。たくさんの地域の人たちの協力と、地元企業の応援もあり、木曽川渡し場遊歩道の整備が始まったのです。

おいしげっていた竹やぶは、ツタが木や竹にからみつき、竹が重なって倒れているなど、作業しにくく、整備するのに一苦労だったそうです。

遊歩道の整備は現在も続いており、将来的には鳩吹山のふもとまでつながることを目指しているようです。

## ◎遊歩道を歩く

遊歩道を歩くと、さまざまな動物や植物に出会えたり、木曽川のすばらしい景色を見ることができます。遊歩道のコース内にある大昔の木が立ったまま化石になった「化石林」や、女の人の幽霊が出たといわれる「夜泣き岩」は見学スポットとなっています。

竹林に囲まれた遊歩道は、歩くととても気持ちが良いので、ウォーキングコースとしてたくさんの人に親しまれています。



木曽川渡し場遊歩道



今渡の渡し場跡



ウォーキングの様子

### すごい point

- ・日本五大名飯に選ばれた可児の郷土料理だよ。

可児には、「さよりめし」という郷土料理があります。

さよりめしは、私たちの住んでいる可児市をふくむ、ちゅうのう中濃・とうのう東濃地区で、ごちそうとして食べられていた炊きこみご飯です。秋の収穫を祝うときや、家でお祝いごとがあったときに特別につくるもので、ぜいたくな料理でした。



「可児ッテ」で販売されたさよりめし

### ◎どうして「さよりめし」って呼ぶの？

「さよりめし」には、「さより」という魚ではなく「さんま」が使われています。

「さより」と「さんま」は、あまり似ていませんが、どちらも「だつ」という細長くてとがったかたちをしている魚の仲間です。

海が近くでない可児の人は、海の魚について細かな区別をせず、本当は「さんまめし」であっても「さよりめし」と呼んでいたようです。

### ◎生活の知恵が生んだ「さよりめし」

家に冷蔵庫がなかった時代、なまざかな生魚はすぐに腐ってしまうので、可児の人たちは新鮮なしんせんお刺身さしみを食べることができませんでした。海の魚は遠くからやって来る行商人から、ぎょうしょうにん干物ひものや塩漬しおづけにしたものを買っていました。さんまをご飯ごに炊きこむ「さよりめし」は、新鮮ではない魚をおいしく食べるための、可児の人たちの工夫でもあったのです。

### ◎五大名飯に選ばれろ

この「さよりめし」は、昭和14年（1939）に宮内省（現在の宮内庁）が選んだ「日本五大名飯」に、「ふかがわ深川めし（東京）」、「ちゅうしちうずめめし（島根）」、「さいたま忠七めし（埼玉）」、「おおさかかやくめし（大阪）」と並んで選ばれています。これは、国が選んだ元祖ご当地グルメともいえます。

現在、「さよりめし」を作る家庭は少なくなりましたが、市のイベントや道の駅「可児ッテ」において、秋～冬限定で再現されたものを食べることができます。

### —可児のむかし話 「福さとキツネとサヨリめし」—

「可児のむかし話」に「福さとキツネとサヨリめし」というお話がのっています。これは、病気で寝こんでいた福さのばばさまに、ぜんだいじやま禅台寺山のキツネがのりうつって「さよりめし」を食べるといってお話です。キツネの助けを借りて、おいしい「さよりめし」をたくさん食べた福さのばばさまは、病気がなおって元気になりました。「さよりめし」はキツネも食べたくなるようなごちそうなのでした。



文化創造センター ala (アーラ)



主劇場・宇宙のホール

### すごい point

- ・だれでも気軽に利用できる、劇場施設だよ。
- ・市民一人ひとりが主役！市民参加型の事業がたくさん行われているよ。

アーラ（可児市文化創造センター）は、建設計画や運営に市民の意見と参加を取り入れて平成14年（2002）にオープンした文化施設です。アーラは、人としてだれもが主役となる場所です。

アーラには、主劇場「宇宙のホール」と小劇場「虹のホール」の2つの劇場があり、音楽会や演劇、式典などさまざまなイベントが催されています。

専門的な設備と優秀なスタッフに支えられたアーラは、全国で12か所の「総合支援劇場音楽堂」に選ばれており、全国トップレベルの劇場であるといえるでしょう。

アーラには、劇場のほかにも、練習する部屋、会議する部屋、映画をみる部屋、展示する部屋、レストランなど、たくさんの部屋があり、いろいろな用途でだれでも利用できることが魅力です。

### ◎市民一人ひとりが主役

大きな劇場のあるまちは、たくさんあります。しかし、可児市のアーラが日本中のどの劇場施設よりもすごいところは、なんといっても市民とアーラ、そして文化・芸術との距離がとても近いところです。

一流の音楽家や歌手、落語家や俳優が公演するアーラですが、みなさんは客席で観るだけでなく、ステージに立つこともできるのです。

市民が一流のアーティストと同じ舞台、同じ環境で活動することや、プロの俳優やスタッフと一緒に作品をつくりあげることでもできるアーラは、可児市が世界にほこるべき文化施設です。

市民ミュージカル  
「君といた夏 ～スタンドバイミー可児～」



こども110番の家（広見地区）



こども110番の家（店舗）

### すごい point

- ・日本全国にある「こども110番の家」は、可児市で最初に始まったんだよ。
- ・現在、可児市には全部で580か所のこども110番の家があるよ。

### ◎「こども110番の家」って何をするとこ？

「こども110番の家」とは、みなさんが登下校中や友達と遊んでいて、知らない人にあとをつけられたり声をかけられたりして、不安や危険を感じた場合に助けを求めることができる場所のことです。「こども110番の家」では、まずはみなさんを保護した後、すぐに警察と学校、お家へ連絡してくれます。

みなさんの通学路周辺の民家やお店などが、「こども110番の家」になっています。

### ◎全国で最初に可児市で始まる

この「こども110番の家」が設置されたのは、日本全国で可児市が最初でした。

平成8年（1996）3月に、今渡北小学校のPTAが中心になって始まった「こども110番の家」の活動は、みなさんの安全を守り犯罪を未然に防ぐ大切な活動として、全国各地に広がりました。

現在、こども110番の家は可児市内に580か所あります（R6.3現在）。

可児市では、毎年、小学校区ごとに「こども110番の家マップ」を作成し配付することで、「こども110番の家」がどこにあるのかをわかるようにしています。



こども110番の家マップ



可児市子育て健康プラザ mano (マーノ)

### おごい point

- ・新しい命が、お母さんのおなかに<sup>やど</sup>宿ったとき（マイナス10ヵ月）から、サポートするよ。
- ・いじめのない市をめざして！全国初のいじめ防止条例をつくったんだ。
- ・可児市子育て健康プラザ mano（マーノ）が、可児駅前にあるんだ。

### ◎ マイナス10ヵ月から つなぐ まなぶ かかえる 子育て

子育てををするお父さんお母さんは、実は不安やなやみでいっぱいです。

そこで、可児市では、お母さんのおなかに新しい命が宿ったとき（マイナス10ヵ月）から、担当する<sup>ほけんし</sup>保健師さんがついて、子育てのサポートをスタートさせます。

出産後は、市民ボランティアや地域の人などいろんな人が子育てにかかわって、元気な子はさらに元気に、心配がある場合は安心して子育てできるように、全ての子育て家庭によりそったサポートを行っています。

### ◎ いじめのない市をめざして

可児市では市役所、学校、みんなのお父さんお母さんや大人たちが、いじめをなくすための決まり【可児市こどものいじめの防止に関する条例】を全国で初めてつくりました。可児市子育て健康プラザ mano（マーノ）の中には、いじめで悩んでいる子が学校以外で相談できる場所「いじめ防止専門委員会」があります。いじめられた経験は大きくなっても心の傷としてずっと残ります。可児市全体で少しでもいじめをなくして、みんなが健やかに成長するために取り組んでいます。

### ◎ 可児市子育て健康プラザ mano（マーノ）

可児市子育て健康プラザ mano（マーノ）は、“可”能性あふれる“児”（こ）がそだつまち 可児のシンボルとして平成30年にできました。

マーノには市役所、保健センター、子育てサロンや児童センター、その他に、市民支援室などの子育てを応援するところがぎゅっと詰まっています。

愛称の「マーノ」は、イタリア語で「手」という意味です。お父さんお母さんが安心して子育てできるように、いろんな人が「手」と「手」を取り合って支えるまちに、そんな願いが込められています。



マーノのシンボルマーク

## すごい point

- ・可児市にはたくさんの工場があり、いろいろなものがつくられているよ。
- ・可児市でつくられた製品が日本の産業を支えているよ。

## ◎岐阜県第3位の工業地域

わたしたちの住んでいる可児市には、自動車の部品をつくっている工場、ティッシュペーパーなどの紙製品をつくっている工場や、飛行機の部品をつくっている工場など、いろいろな工場があります。

可児市では、明治時代に広見のまちにたくさんの製糸工場せいしこうがつけられました。また昭和10年代には、土田に航空機こうくうきの部品をつくる工場もできました。このように、可児市には昔からもものづくりの基礎きそがあったのです。

そして昭和50年代になると、たくさんの工場が郊外こうがいにつくられるようになり、今では可児市は岐阜県で第3位の工業地域ちいきになっています。

## ◎輸送に便利な道路

可児市には、ほかの都市に通じる主要な国道や高速道路が通っています。そのため、自動車をつくる大きな工場がある豊田市や、外国に製品を輸出できる港のある名古屋市にも短時間で行くことができます。

製造業のさかんな原材料や製品の輸送に便利な場所なので、アクセスのよさに注目した多くの企業きぎょうが、可児市に工場をつくりました。

## ◎広い工業団地

たくさんの工場が1か所に集まっている場所を、工業団地こうぎょうだんちといいます。可児市には、可児工業団地や二野工業団地ふたのこうぎょうだんち、柿田流通・工業団地かきだ、可児御嵩インターチェンジ工業団地おんたけなどがあります。

昭和47年（1972）に造成工事が始まった可児工業団地は、バンテリンドームナゴヤ28個分の広さがあり、現在は約50の会社が集まる東海地方でも最大級さいだいきゅうの工業団地です。

ほか3か所の工業団地は、東海環状自動車道とうかいかんじょうじどうしゃどうの可児御嵩インターチェンジおんたけに近く、これからの発展はってんが期待されています。



可児工業団地

## 岐阜県の製造品出荷額等 順位(令和3年)

順位	市名	出荷額
1位	各務原市	7214億円
2位	大垣市	5364億円
3位	可児市	4645億円
4位	関市	3823億円
5位	中津川市	3815億円

出典：経済産業省「令和3年経済センサス」



二野工業団地



ヤイリギターの製品と製作の様子

「一五一会 奏生(かない)」

### すごい point

- ・世界に通用する高品質のギターをつくっているよ。
- ・職人さんがハンドメイド（手づくり）で、ていねいに作りあげているよ。

### ◎ヤイリギターとは

ヤイリギターは、下恵土にあるギターをつくる会社です。昭和10年（1935）に創業者の矢入儀市さんが、矢入楽器製作所として楽器づくりをはじめました。

儀市さんのあとをついだ矢入一男さんは、アメリカで本格的なギターづくりを学んだ後、昭和40年（1965）に株式会社ヤイリギターを設立しました。一男さんは50年以上にわたって、こだわりのギターづくりを続け、平成17年（2005）にはとてもすぐれた技を持つ「現代の名工」として国の表彰を受けています。

### ◎こだわりのギター作り

ヤイリギターでは「オール・メイド・イン・ジャパン（すべて日本製）」にこだわっていて、ギターづくりのすべての工程を、可児市の工場でおこなっています。

また職人さんの「手づくり」にもこだわりがあります。工場では、約30人の職人さんが、機械をなるべく使わずに、手作業でギターをつくっています。

職人さんは、木材をていねいに選び出し、その木の特徴に合わせて加工していきます。「手づくり」のギターは、一日20本ほどしかつくれません。

### ◎世界的なブランドとして

ヤイリギターでは、現在も伝統的なアコースティックギターを中心に、世界一簡単に弾ける「一五一会」といった独自の新楽器を生み出しています。

時間をかけてていねいにつくられたヤイリのギターは、その品質と良い音色によって、世界じゅうから高い評価を受けています。そのため、たくさんの有名なミュージシャンが使用しています。世界に通用する一流のギターが「メイド・イン・可児」なのです。

## すごい point

- ・可児の<sup>さといも</sup>里芋やごぼうは、昔からつくられていたんだよ。
- ・今も農産物ブランド「可児そだち」として売られているよ。

◎<sup>さといも</sup>里芋（タダイモ）

昔、可児では「里芋」のことを「タダイモ」と呼んでいました。

今渡、川合、土田、下恵土など、<sup>しもえど</sup>木曾川沿いの<sup>きそ</sup>黒<sup>ぞ</sup>土の<sup>くろ</sup>畑でつくられた<sup>つち</sup>里芋は、とてもおいしいと<sup>ひょうばん</sup>評判で、一部は関西方面にも売りに出されていました。

現在、可児市内では、「<sup>じゆく</sup>さといも塾」という団体が、<sup>ちいき</sup>地域おこしのために<sup>さいばい</sup>里芋の栽培をしています。また、市内の会社やお店では、ラーメン・うどん、<sup>しょうちゆう</sup>焼酎、コロッケ、ギョーザ、ドーナツ、アイスなど、可児の里芋を使用した商品を開発販売しています。これらの商品は、可児市産で品質の良い農産物ブランドである「可児そだち」にも<sup>にんてい</sup>認定されています。

可児市で生産された里芋は、みなさんの給食にも使われています。



里芋

◎<sup>すげかり</sup>菅刈ごぼう（ゴンボ）

昔、帷子の<sup>すげかり</sup>菅刈地区では、ごぼうの生産がさかんでした。可児では、ごぼうのことを「ゴンボ」ともいいます。

菅刈地区の畑の土は、他の地区と比べても深く、深いところまで根を張る<sup>さいてき</sup>ゴボウのような野菜に最適でした。

昭和20年代の<sup>さいせいき</sup>最盛期には、40軒ほどの<sup>けん</sup>農家で「菅刈ごぼう」がつくられ、名古屋や関西地方に出荷されていました。

菅刈ごぼうは、香りがよく、おいしい<sup>でんとう</sup>伝統野菜として有名でしたが、畑や<sup>へ</sup>つくる人が減り、だんだんとつくれなくなっていました。

可児の特産物であった菅刈ごぼうを守り、たくさんの人に知ってもらおうと、可児市シルバー人材センターの人たちが<sup>さいばい</sup>栽培していた時期もあり、道の駅などで販売されたこともありました。

近年は栽培する人がほとんど居なくなり、まぼろしの特産品となっています。



菅刈ごぼう

## すごい point

- ・可児の人物が、戦国時代にとっても活躍していたんだよ。



(可児市所蔵)

もりらんまる  
◎森乱丸（蘭丸）

兼山にある美濃金山城で育ちました。小さいころから織田信長の小姓（そばにいて用件を聞く役目）として活躍しました。とても頭がよい上に美少年であったといわれ、信長に大変かわいがられたようです。

織田信長が明智光秀の軍勢の襲撃を受けた「本能寺の変」のときも、最後まで信長と運命を共にし、18歳という若さでこの世を去りました。

もりながよし  
◎森長可

森乱丸のお兄さんです。乱丸と同じく織田信長に仕えました。いくさの名人で、数々の戦いで手柄をあげています。あまりに強いので「鬼武蔵」と呼ばれていました。

しかし、いくさだけでなく美濃金山城主として城下町の整備に力を入れるなど、政治の面でもすぐれた能力を発揮しました。兼山の可成寺に、森氏一族のお墓があります。



(可成寺所蔵)



土田城跡

どたごぜん  
◎土田御前

織田信長のお母さんです。生まれたところについては色々な意見がありますが、可児市の土田で生まれ育ったという説もあります。

織田信秀にとつぎ、織田信長やお市の方を産みました。土田御前の生涯については、くわしいことはわかっていません。

あけちみつひで  
◎明智光秀

出身地は、可児市瀬田といわれています。本能寺の変をおこし、織田信長を自害に追いこんだことで有名です。

いくさが上手な武将でしたが政治面にも優れ、その上、茶の湯や連歌もたしなむ文化人でした。

本能寺の変の後、「山崎の戦い」で羽柴（豊臣）秀吉に敗れました。

一説には、信長の妻・濃姫の母親（小見の方）も明智光秀の一族だといわれています。



(岸和田市 本徳寺所蔵)

## すごい point

- ・土田のガラスづくりは全国でも最先端だったんだ。
- ・わくわく体験館でもガラスづくり体験ができるよ。

現在、ガラスでつくられたものは、みなさんの身の回りにたくさんあります。値段も安く、すぐに手に入れることができます。しかし、江戸時代にはガラスは貴重品で、たくさんつくることができないものでした。また、ガラスのことを外国の言葉を使って「びいどろ」と呼んでいました。

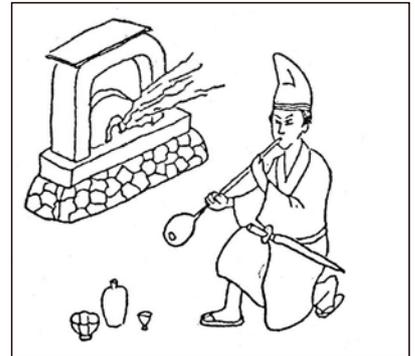
ガラスがめずらしいものであった江戸時代に、可児の土田でガラスづくりをはじめた人がいました。その人物が「石塚硝子株式会社」の創業者・石塚岩三郎です。

下総国（千葉県）で武士の次男として生まれた岩三郎は、冒険心にあふれた人物でした。

広い世界を見てみたいとの思いから旅に出て、長崎でガラスに出会いました。初めて見るその美しさに引きこまれた岩三郎は、ガラスづくりを生涯の仕事にしようと、苦勞の末、秘伝といわれたガラスのつくり方を習得しました。



岩三郎の作品（再現したもの）



ガラスづくりの想像図

## ◎土田でガラスの原料（珪石）を発見

岩三郎は、中山道を通って故郷へ帰る途中、可児の土田村でガラスの原料の珪石を発見し、故郷に帰ることなく生涯、土田村でガラスをつくりつづけました。

土田でのガラスづくりは全国的にみても、早い時期にはじまっています。

岩三郎は1867年に亡くなりますが、ガラスづくりは子や弟子たちに引きつがれていきました。

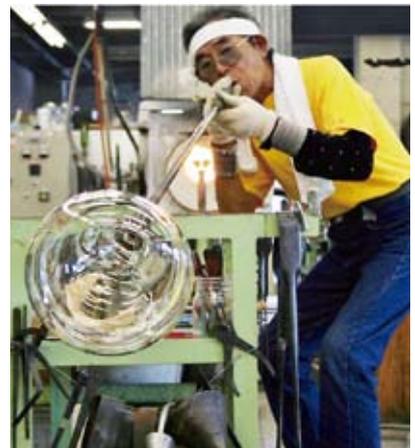
土田村で70年続いたガラスづくりは、明治21年（1888）、交通の便などから名古屋に移り、現在は愛知県岩倉市に本社を置く「石塚硝子株式会社」として、国内トップクラスのガラス製造会社になっています。

## ◎わくわく体験館のガラス工芸体験

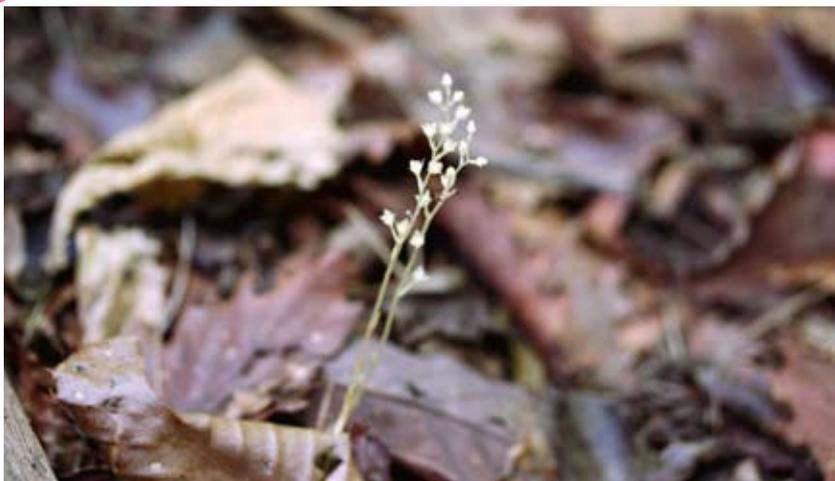
平成11年（1999）に、可児市塩河にわくわく体験館がオープンしました。わくわく体験館は、宿泊とガラス工芸体験ができる研修施設です。人が息を吹きこんでガラスをふくらませる「吹きガラス」のつくり方を見学したり、自分で体験したりすることができます。

また、わくわく体験館では、石塚岩三郎がつくったびいどろを、当時のつくり方・原料を使って再現する取り組みもおこなっています。

土田でびいどろをつくり始めた石塚岩三郎の心は、現代の可児にも受けつがれています。



「吹きガラス」の様子



サクライソウ



加藤新市(名古屋市 加藤ハツ家資料)

### すごい point

- ・とてもめずらしいサクライソウという植物を、可児で発見した人だよ。
- ・小学校の先生をしながら植物の研究もしていたんだ。

### ◎学校の先生をしながら植物研究

加藤新市は、明治18年(1885)に久々利くくりで生まれました。学校を卒業したあとは教師きょうしになって、羽崎尋常小学校はざきじんじょうや平牧尋常小学校ひらまきじんじょうにつとめました。

新市は、先生の仕事をしながら植物の研究を行っていました。たくさんの植物学者と交流があったほか、民俗学者みんぞくや地質学者ちしつとも交流をもっていました。その活動は地域の学校の先生というより、全国レベルの博物学者はくぶつと呼べるものでした。

新市は、可児の山々を歩いて、さまざまな植物のスケッチ画を残しています。

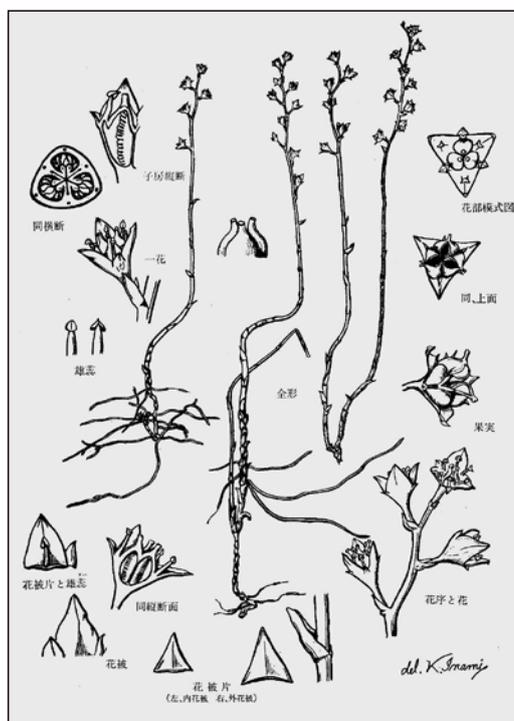
### ◎サクライソウの自生地じせいちを発見

大正3年(1914)、新市は久々利せんげんやまの浅間山でサクライソウを発見します。サクライソウは、日本でも限られた場所ではしか生えていない、とてもめずらしい植物で、当時はくわしい研究がされていませんでした。

サクライソウの自生地じせいちを発見した新市は、くわしい研究を行い、その成果を学会に発表しました。

加藤新市が研究したサクライソウの自生地は、大正9年(1920)に国の天然記念物に指定されました。その後、生えている数が減少するなど、絶滅ぜつめつの危機もありましたが、現在も浅間山の自生地ではサクライソウの姿を見ることができます。

現在、日本のほかの場所ではこの貴重な絶滅危惧種きちゆう ぜつめつ きくしゆをみるのが難しくなっており、可児市のサクライソウ自生地は、ただ1つの国の天然記念物としても価値のあるものです。



サクライソウのスケッチ画

## すごい point

- ・ 可児出身の一流雑誌編集者だよ。
- ・ 海老さんが考案したベビーブックは、現在の母子健康手帳のもとになったんだ。

大正末期から昭和初期は、女性がさまざまな職業につき、社会で活躍しはじめた時代でした。

当時、職業婦人と呼ばれた女性の中で、雑誌編集者として活躍した人物が、久々利出身の海老衣子です。

## ◎雑誌編集者として活躍

明治34年（1901）に生まれた衣子は、日本女子大学校（現在の日本女子大学）を卒業後、東京の出版社に就職しました。

衣子は、当時の人気雑誌である『婦人世界』や『少女の友』の編集者として、文学記事から手芸など実用的な記事をはば広く手がけました。そして、彼女が手がけた仕事の集大成といえる本が『ベビーブック』です。

## ◎ベビーブックの編集

昭和8年（1933）に出版された『ベビーブック』は、生まれてから小学生になるまでの子どもの成長を記録でき、さらに子育てのさまざまな知恵を盛りこんだ、子育てガイドブックともいえる本です。

当時、大ヒットしたこの本は、親が自分で書きこむという点でも、現在の母子健康手帳のもとになるものでした。

衣子は、『ベビーブック』出版から3年後、病に倒れ、35歳の若さでその生涯を終えますが、衣子の想いは母子健康手帳という形で日本中に受けつがれています。

おうちに母子健康手帳があれば一度見てみましょう。みなさんの生まれた時からの記録が残っているはずですよ。

現在、衣子の故郷である可児市は、「マイナス10カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て」を推進しており、子育てしやすいまちづくりを目指しています。



海老衣子  
（個人所蔵）



海老衣子が編集した『ベビーブック』

## すごい point

- ・人間国宝には、重要な伝統的技法でんとうてきぎほうを持つ人がなれるんだよ。
- ・可児市には、人間国宝にんていに認定された人の工房が2つあるんだ。

## ◎人間国宝とは？

文化財は、仏像や古墳といったかたちのあるものばかりではありません。音楽や工芸などの分野ぶんげいにおける優れた「人のわざ」そのものが、文化財に指定されることもあります。

国が重要な文化財に指定した「わざ」を持っている人のことを、一般に「人間国宝」と呼びます。

◎荒川豊蔵あらかわとよぞう（1894～1985）

多治見生まれの荒川豊蔵は、昭和5年（1930）に、久々利くくりの大萱おおがやの山の中で「たけのこ」の絵えが描かかれた志野しのの破片はへんを見つけました（歴史じまん⑩）。

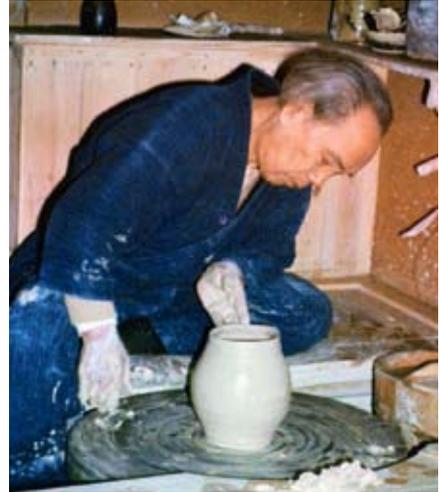
その後、豊蔵は昔と同じ技法ぎほう（わざ）で陶器とうきをつくろうと決心し、大萱に移り住みました。豊蔵はなんども失敗をくり返しながらも、美濃桃山陶の制作技法を再現することができました。

昭和30年（1955）には、志野せとぐらと瀬戸黒せとくろの技法で人間国宝にんていに認定されました。豊蔵が再現した美濃桃山陶のわざは、多くの陶工に受けつがれています。

◎加藤孝造かとうこうぞう（1935～2023）

瑞浪みづなみ生まれの加藤孝造も、美濃桃山陶の美しさみに魅せられた一人です。昭和47年（1972）、孝造は久々利の平柴ひらしばに窯をつくり、可児市を中心に作陶さくとう活動をおこないました。また、荒川豊蔵あらかわとよぞうに指導しを受け、伝統的でんとうてきな技法を使って志野・瀬戸黒などの陶器の制作したことで有名です。

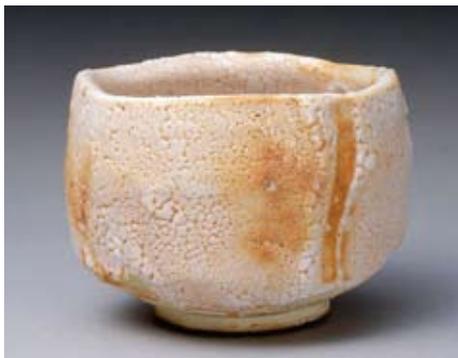
加藤孝造は、平成22年（2010）に瀬戸黒の技法で人間国宝に認定されました。瀬戸黒のわざでの認定は、荒川豊蔵に続いて史上2人目になります。



荒川豊蔵  
（個人所蔵・撮影 加納陽治）



加藤孝造



荒川豊蔵作 志野茶わん



加藤孝造作 瀬戸黒茶わん

# お礼のことば

この本を刊行するにあたり、多くの皆様にご協力いただきました。巻末ではございますが厚く御礼申し上げます。(順不同・敬称略)

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター  
可児市健康づくり運動普及推進協議会  
公益社団法人 可児市シルバー人材センター  
可児市山城連絡協議会  
公益財団法人 可児市文化芸術振興財団  
岸和田市  
木曾川左岸遊歩道友の会  
岐阜県可児工業団地協同組合  
NPO 法人 さとも塾  
公益財団法人 中山道広重美術館  
ぎふワールド・ローズガーデン  
公益財団法人 三井記念美術館  
わくわく体験館

株式会社 パロマ

株式会社 ヤイリギター

道の駅 可児ッテ

スポーツプラザ ヒビノ

山本 陽

加藤 修滋

田口 宏

樋口 光利

可成寺

本徳寺

薬王寺

## 可児市のじまんとほこり

発行日 平成30年3月30日  
令和3年3月31日増補  
令和4年3月31日第4版  
令和6年6月30日第5版  
令和7年6月30日第6版

発行者 可児市  
〒509-0292  
岐阜県可児市広見一丁目1番地

編集 可児市  
印刷 丸理印刷株式会社

